

挨拶で地域に笑顔を広げよう！

校長 松本 雅史

1月もいよいよ最後の週に入りました。水曜日から2月に入ります。そして、今週の土曜日の2月4日は暦で「立春」です。その名のとおり、春の始まりで、昔はここから1年が始まりました。そして、その前日の2月3日は、季節が冬から春への区切りの日ということで「節分」といいます。節分では、豆まきをします。「鬼は外」「福は内」と掛け声をかけながら豆をまくのが昔からのならわしです。1年の始まりを迎えるにあたって、たくさんの福を家に呼び込みましょうという気持ちですね。

さて、私たちは、見えない所で多くの人にお世話になっています。登校の時に、交通安全の見守りをしてくださっている、PTAや地域の方々は、寒い冬の日も笑顔で皆さんの安全を支えてくださっています。公園や町は、いつ行ってもきれいです。時折、心無い人がごみを散らかしますが、気がつくときれいに掃除されています。もちろんそれは自然にきれいになっているわけではありません。掃除をしてくださる方がいるからです。この人は、自分が散らかしたわけではないのに、掃除をしてくれているのです。落ち葉が落ちっぱなしになっていないのも、掃除をしてくださっている方のお陰です。私は、毎朝、正門前の公園を掃除してくださっている方

と出会います。「おはようございます」「いつもありがとうございます」とご挨拶をさせていただいています。この方も「おはようございます」と挨拶を返してくださいます。

さて、先週ですが、私の下に嬉しい報告がありました。この掃除をしてくださっている方が、「今朝、五小のお子さんが、『いつもありがとうございます』と挨拶してくれたんですよ！」と、とても嬉しそうに話をしてくださったということです。その方は、本当に嬉しそうに笑顔いっぱいだったそうです。そういえば、1年前に正門前の歩道橋がペンキの塗装でしばらく使えず、地域の方々が毎朝登校の安全見守りをしてくださったことがありました。その時も、地域の方々に「おはようございます」「ありがとうございます」と元気にご挨拶する五小の子どもたちの姿がありました。その挨拶の姿は、地域の方々にとても評判になりました。

地域には、自分のためでなく、みんなのために人知れず頑張ってくださっている方々がたくさんいます。「ありがたいな」「素晴らしい方だな」と気が付いたら、勇気を出してご挨拶しましょう。校舎内で、業者の方や学校のお客さんとすれちがったときに、「こんにちは」と自分から挨拶できる人がいます。業者の方は、五小にくると子ども達が挨拶してくれるのでとても嬉しいと話してくれます。自分からすすんで挨拶するということは、笑顔や元気を広げていくことでもあるのです。これからも、自分からすすんで気持ちのよい挨拶をして、五小からたくさん笑顔を広げていきましょう。

2月3日 (金)

せつぶん

節分



2月4日 (土)

りっしゅん

立春

